

バリデーションとは・・・

バリデーションは、アメリカのソーシャルワーカー修士（M・S・W）ナオミ・フェイルさんによって開発されました。

まず、バリデーションが他のセラピーと大きく違うところは認知症の症状を持つお年寄りとケアするものとは人間として本当の意味では平等・対等であることです。

ケアする側される側という垣根を飛び越え、対等な人間として親しい隣人や友人、愛する家族となって、共に感動し、怒り、喜び、悲しむ、共感者になります。

認知症の症状をもつお年寄りに対して、生活歴を調査しその人の趣味や若い頃の仕事などを調べ（それも大切ですが）その問題点を掘り出して正常化させようとするのではなく、「あなたの苦しみを分けてくれませんか」「あなたが悲しいなら、私も一緒に泣いてもいいですか」とお年寄りの感情を受け入れ、決して評価せず、ひとまず私のニーズ（私達の現実）は横に置き、お年寄りの現実を受け入れます。たとえそれが現実の真実と違っていたとしてもです。

人は怒り、悲しみ、恐れなど、ネガティブな感情を怖がります。無意識にその場しのぎの対応をしたり、落ち着かせようとしたり、楽しい気分にかえようとしています。

全てのお年寄りは尊敬されること、愛し愛されること、感情を表現して、希望をもつことを必要としています。お年寄りは皆人生の最後のステージで、心の平安を見つけるため奮闘しています。自分があるがまま受け入れられ役にたつ存在でありたいと思っています。

認知症の症状をもつお年寄りは、これらのニーズを個人的方法あるいは、とても感情的な方法で表します。今まで表現できなかった、様々な感情を認知症の力を借りて表現してくださいませ。

バリデーションは死が訪れる前に遺り残した仕事（心の底にある思い）を片付けて（表現）しまおうと一生懸命奮闘している認知症の症状をもつお年寄りに対し敬意と共感をもって関わることを基本としたコミュニケーション法です。

バリデーション入門申し込みシート

(2010.2.20)

受付番号

FAX 0556-22-2831

お名前（施設名）	人数	TEL/FAX
駐車場	1. 利用する 2. 利用しない	（どちらかに○印）

（グループ、施設等でのお申し込みは、代表者のお名前及びご連絡先をご記入下さい）

申込み〆切 2010年2月10日

後日、担当より受付け確認できたことをお知らせ致します